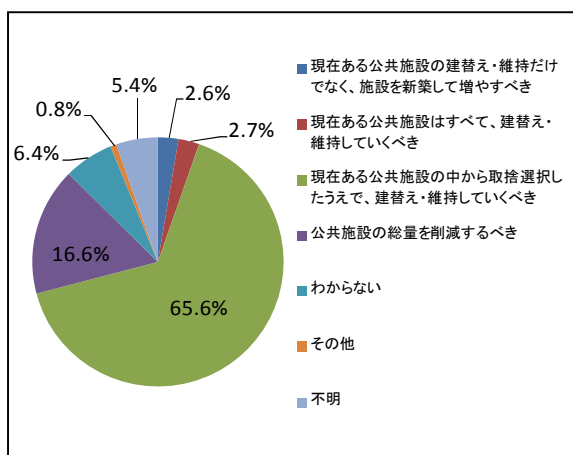


問 14 札幌市では、今後、公共施設の建替えに必要な費用の増大が見込まれています。このことを踏まえて、あなたは、今後、公共施設の整備をどのように進めていくべきと考えますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選び、あてはまるものに○をつけてください。

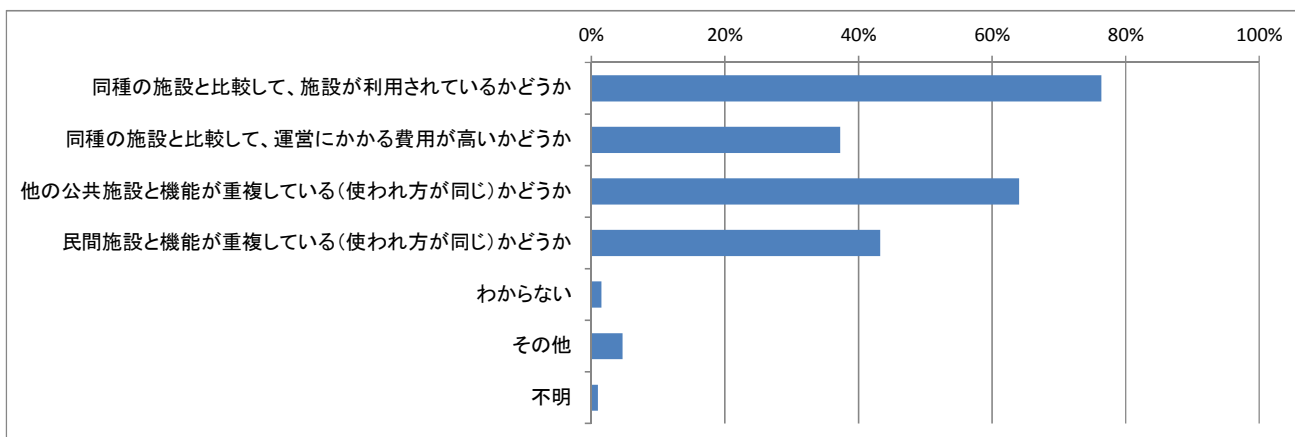
- 「現在ある公共施設の建替え・維持だけでなく、施設を新築して増やすべき」、「現在ある公共施設はすべて、建替え・維持していくべき」はそれぞれ 2.6%、2.7%となっており、合計 5.3%の方が現在ある公共施設の量を減らすべきではないと考えていることとなります。
- 「現在ある公共施設の中から取捨選択したうえで、建替え・維持していくべき」は 65.6%で最も多く、これに「公共施設の総量を削減するべき」の 16.6%を加えると、合計 82.2%の方が現在ある公共施設の量を減らすべきと考えていることとなります。



(問 15 は、問 14 で3または4と答えた方にお聞きします。)

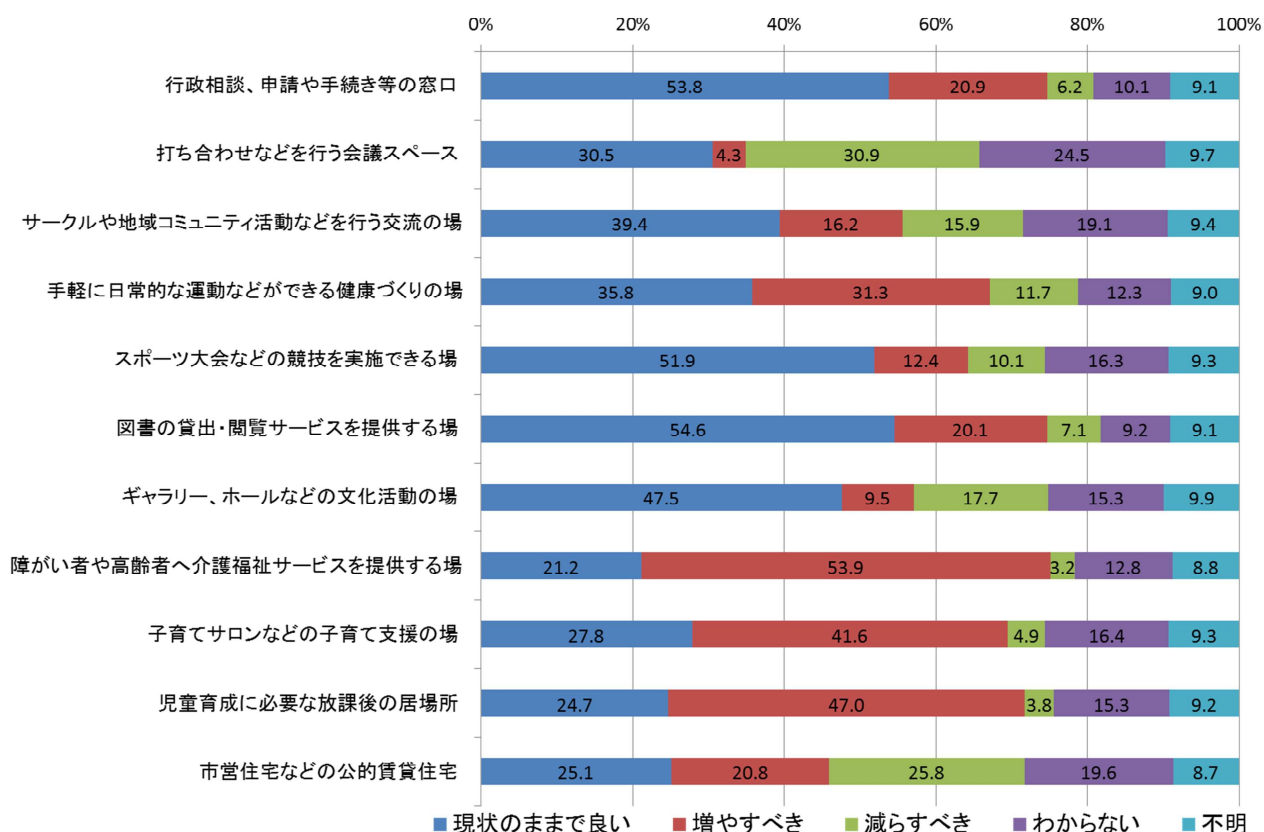
問 15 今後、公共施設の建替えにあたり、あなたは、どのような観点から公共施設を取捨選択するのがよいと考えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 「同種の施設と比較して、施設が利用されているかどうか」は、76.3%で最多となっています。
- 次の多いのが「他の公共施設と機能が重複している(使われ方が同じ)かどうか」で、64.0%となっています。



問 16 今後、あなたは、次のそれぞれの公共施設の機能について、これらの機能を提供する施設量（施設数や施設の面積）の増減をどのようにしたらよいと思いますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 「現状のままで良い」と答えた方が多いのは、図書の貸出・閲覧サービスを提供する場（54.6%）、行政相談、申請や手続き等の窓口（53.8%）、スポーツ大会などの競技を実施できる場（51.9%）となっており、いずれも50%を超えています。
- 「増やすべき」と答えた方が多いのは、障がい者や高齢者へ介護福祉サービスを提供する場（53.9%）、児童育成に必要な放課後の居場所（47.0%）、子育てサロンなどの子育て支援の場（41.6%）となっています。
- 「減らすべき」と答えた方が多いのは、打ち合わせなどを行う会議スペース（30.9%）、市営住宅などの公的賃貸住宅（25.8%）、ギャラリー、ホールなどの文化活動の場（17.7%）となっています。

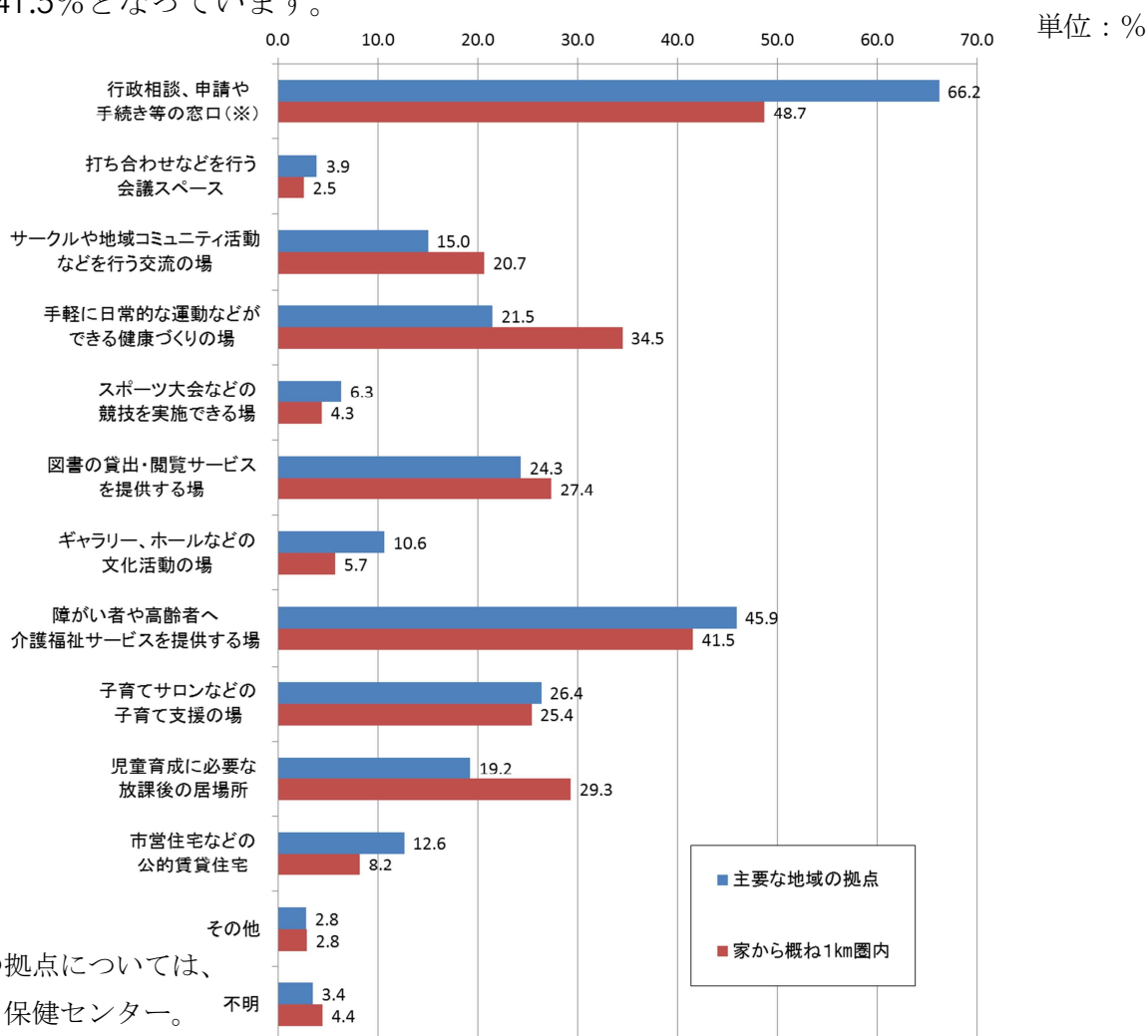


問 17 今後の少子高齢化の進展などによる人口構造の変化を踏まえて、以下の質問にお答えください。

- ① あなたは、「主要な地域の拠点（地下鉄・JR駅周辺など）」にはどのような機能やスペースを持つ施設が配置されるべきと考えますか。優先度が高いと思うものを最大3つまで選び、番号に○をつけてください。
- ② あなたは、「家から概ね1km圏内」にはどのような機能やスペースを持つ施設が配置されるべきと考えますか。優先度が高いと思うものを最大3つまで選び、番号に○をつけてください。

○ ①主要な地域の拠点に関しては、「行政相談、申請や手続き等の窓口(市役所、区役所、保健センター)」と答えた方が最も多く 66.2%、次いで「障がい者や高齢者へ介護福祉サービスを提供する場」が 45.9%となっています。

○ ②家から概ね1km圏内に関しては、「行政相談、申請や手続き等の窓口(まちづくりセンター)」と答えた方が最も多く 48.7%、次いで「障がい者や高齢者へ介護福祉サービスを提供する場」が 41.5%となっています。

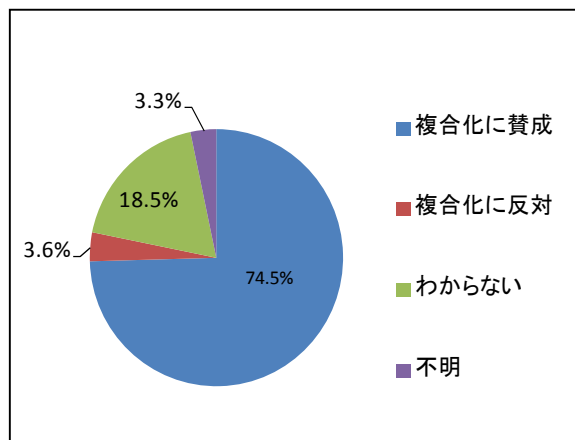


※①主要な地域の拠点については、市役所、区役所、保健センター。

②家から概ね1km圏内については、まちづくりセンター。

問 18 将来を見据えて効果的かつ効率的に施設を配置するため、公共施設を複合化することについて、どのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

○ 74.5%の方が、「複合化に賛成」と回答しています。

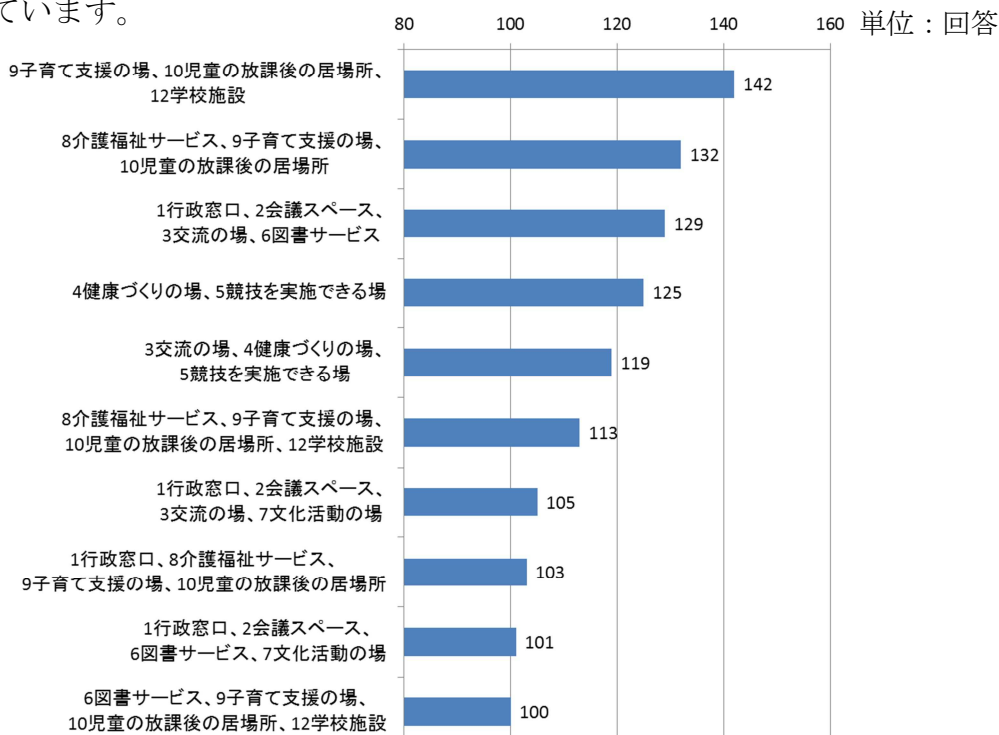


(問 19 は、問 18 で1と答えた方にお聞きします。)

問 19 公共施設を複合化する場合、あなたはどのような機能を複合化したらよいと思いますか。適当だと考える組み合わせを作り、回答欄に番号を記入してください。

No.	選択内容
1	行政相談、申請や手続き等の窓口
2	打ち合わせなどを行う会議スペース
3	サークルや地域コミュニティ活動などを行う交流の場
4	手軽に日常的な運動などができる健康づくりの場
5	スポーツ大会などの競技を実施できる場
6	図書の貸出・閲覧サービスを提供する場
7	ギャラリー、ホールなどの文化活動の場
8	障がい者や高齢者へ介護福祉サービスを提供する場
9	子育てサロンなどの子育て支援の場
10	児童育成に必要な放課後の居場所
11	市営住宅などの公的賃貸住宅
12	学校施設
13	その他

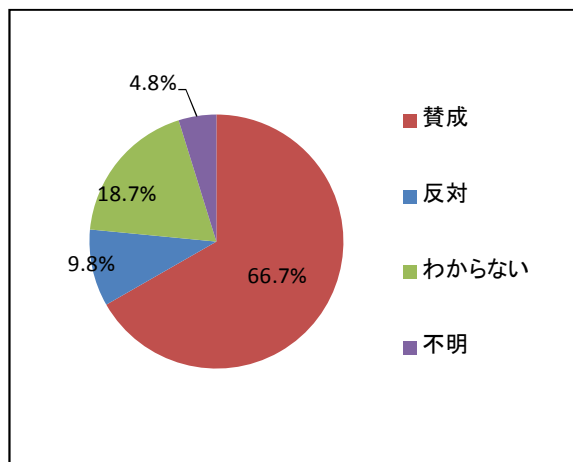
○ 「9子育て支援の場、10児童の放課後の居場所、12学校施設」の組み合わせが142回答と最も多くなっています。



問 20 今後、公共施設の建替え時期の集中と建替え費用の増大が見込まれることを踏まえて、以下の質問にお答えください。

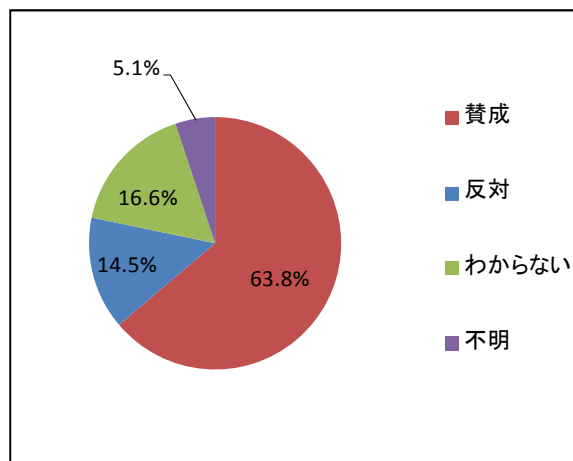
- ① 行政施設と類似する機能を持つ民間施設がある場合、「行政が施設を所有せず、その役割を民間施設に任せる」ことについて、どのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

○ 66.7%の方が、「賛成」と回答しています。



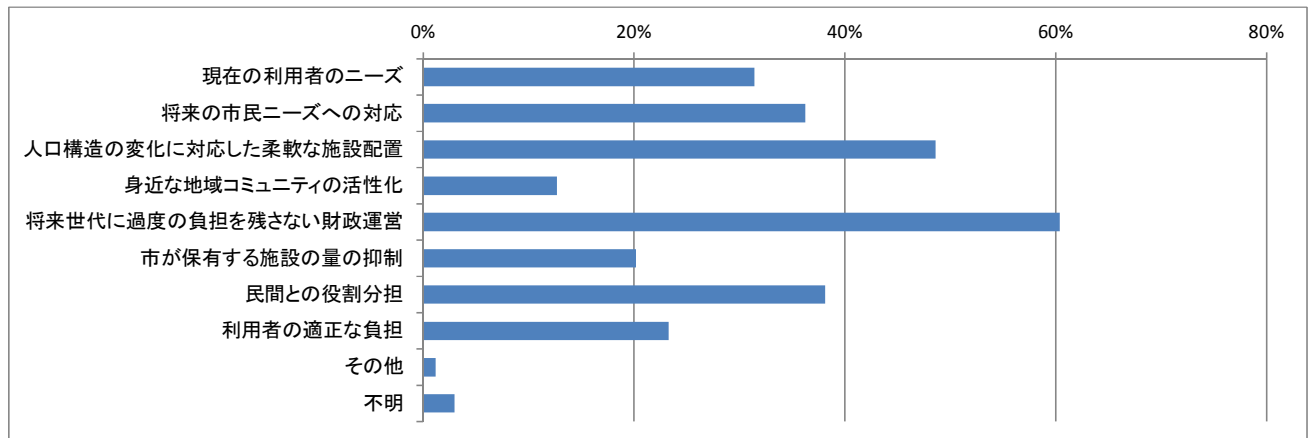
- ② 公共施設と同じ料金で利用できるよう、「補助金の交付などにより、行政が民間施設を支援する」ことについて、どのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

○ 63.8%の方が、「賛成」と回答しています。



問 21 今後、公共施設のあり方を検討するにあたり、何を重視すべきと考えますか。最大3つまで選び、番号に○をつけてください。

○「将来世代に過度の負担を残さない財政運営」が60.4%で最多、次いで「人口構造の変化に対応した柔軟な施設配置」(48.6%)、「民間との役割分担」(38.2%)が多くなっています。



問 22 最後に、札幌市における公共施設のあり方について、あなたのご意見をお聞かせください。（自由記述）

主な意見（概要）

1 公共施設問題全般

- 市民ニーズを反映した使い勝手の良い公共施設を整備すべき(137件)
- 利便性の高い場所に施設を設置すべき(86件)
- 既存の施設の有効活用をすべき(70件)
- 少子高齢化社会を見据え、子供たちに負担のかからない公共施設のあり方を考える必要がある(66件)
- 弱者が安心して暮らせる社会が必要(42件)
- 市民の負担増とならないようにすべき(35件)
- 区間の公平な公共施設の配置をすべき(29件)
- さっぽろに住みたいというまちづくりが大切(24件)
- 防災面も考慮する必要がある(15件)

2 施設の保有量・増減

- 厳しい財政状況なので、必要最低限の施設で良い(103件)
- 利用者が少ない施設は廃止するなど、本当に必要な公共施設を見極める必要がある(80件)
- 利用者が少ないなど無駄な施設が多い(66件)
- 高齢者が増えるので、高齢者の施設を充実させるべき(65件)
- 財政に見合った規模とすべき(55件)
- 高齢者ばかりでなく、子育て世代の支援を充実させるべき(44件)

- 女性が子育てしながら就労できる施設を整備してほしい(27件)
- 市営住宅を減らすべき。民間の施設を借りれば良い(26件)
- 札幌市の公共施設は充実している(26件)
- 市営住宅がもっと欲しい(10件)

3 施設の統合

- 複合化を進め、経費を節減すべき(66件)
- 行政のスリム化を図るべき(60件)
- 相乗効果があるような機能を集約すべき(33件)
- 利用者の利便性が高まるような複合化を行い、利用者を増やすべき(26件)
- まちづくりセンター、地区会館、地区センター、公民館は何が違うのか。統合すべき(10件)

4 施設の民間活用

- 民間でできることは民間でやるべき(133件)
- PFI・PPPを積極活用すべき(27件)
- 民間に丸投げするのではなく、チェックをしっかりとすべき(26件)
- 市が公共施設を所有するのではなく、民間施設を借りるべき(11件)
- 民間が持続可能に運営できるよう支援が必要(9件)

5 施設の運営・料金等

- 利用者の負担の適正化を図るべき(85件)
- 職員の市民対応が悪いので、改善・意識改革が必要(48件)
- 働いている人が利用できる曜日、時間帯を設定すべき(42件)
- コミュニケーションがとれる場所作りが重要(38件)
- いつも同じ人ばかりが利用している(25件)
- 市営住宅は本当に必要な人のみに提供し、適正な家賃を徴収すべき(17件)
- 施設をほとんど利用しないのに、税金を負担するのはおかしい(15件)
- 利用者を増やして収入を増やすべき(10件)
- 学校等を解放し、高齢者と子どもの交流を増進すべき(8件)

6 その他

- 施設の場所、利用方法、サービス内容等をもっと市民に広報すべき(70件)
- 施設の存在や利用方法がわからない(44件)
- 市の置かれた状況をもっと市民に広報すべき(18件)
- 高齢者ばかりでなく、若者の意見をもっと反映してほしい(12件)

3 さっぽろ未来創造シンポジウムについて

(1) シンポジウムの概要

【開催趣旨】

今後10年間の新たなまちづくりの基本的な指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」が完成しました。このビジョンを広く周知するとともに、これからのまちづくりについて市民の皆さんと一緒に考える「さっぽろ未来創造シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、「デフレの正体」や「里山資本主義」で著名な藻谷 浩介氏をお招きし、「人口減少と超高齢社会を迎える札幌の未来」についてご講演いただいたほか、「歩いて暮らせるまちづくり」をテーマに、市長と有識者を交えたパネルディスカッションを行いました。

【日 時】平成 25 年 12 月 10 日（火） 18：00～20：30

【会 場】 かでる 2・7 「かでるホール」

【来場者数】 4 3 7 人



【プログラム】

① 市長メッセージ

「私たちが目指す札幌の将来」

札幌市長 上田 文雄



② 基調講演

「人口減少と超高齢社会を迎える札幌の未来」

（株）日本総合研究所調査部主席研究員

藻谷 浩介 氏



③ 札幌市の取組み

「どうなる？札幌市の公共施設」

北星学園大学社会福祉学部教授

札幌市市有建築物のあり方検討委員会委員長

杉岡 直人 氏



④ パネルディスカッション

「歩いて暮らせるまちづくり～みんなで考えるこれからの公共施設～」

○コーディネーター

(株) 桐光クリエイティブ代表取締役 吉田 聡子 氏

○パネリスト

(株) 日本総合研究所調査部主席研究員 藻谷 浩介 氏

北星学園大学社会福祉学部教授

札幌市市有建築物のあり方検討委員会委員長 杉岡 直人 氏

(社) 北海道総合研究調査会主任研究員

札幌市市有建築物のあり方検討委員会委員 寺下 麻理 氏

札幌市長 上田 文雄

主に以下の2つのテーマについて、ディスカッションが行われました。

①「歩いて暮らせるまちづくり」は、どのようなまちで、何を目指していくのか。

○「歩いて暮らせるまちづくり」は、集約型連携都市への再構築を進めていくこと。(上田市長)

○計画都市札幌は、歩いて暮らしやすいことを意識して作られたまち。冬も出歩けるかどうか、元気な高齢者をつくることにもつながる。(藻谷氏)

○「歩いて暮らせる」は、「歩いて暮らしたくなる」環境づくり。地域の活性化には、公共施設を多世代が一緒に使える「巣」として作り込むことが必要。(杉岡氏)

○共生とは、自分ができる役割の中で暮らし、それがつながることにより地域で暮らしていくということ。自分たちの地域のことは住民が一番分かっている。(寺下氏)

②今後、公共施設のあり方をどのように考えていくべきか。

○今後は利用しやすい施設を考え、工夫していくことが必要。アンケートで多くの市民が賛成している複合化、民間施設の活用を検討していくべき。(杉岡氏)

○大通公園は、道路なのにビールが飲めるなど、道路をこういった使い方をしている自治体は他にない。今後は、公共施設でも同様に柔軟に進めていくべき。(藻谷氏)

○複合化は単なる合築では意味がない。行政は縦割りをやめて、施設の企画には市民の声を聞きながら、市民ニーズに柔軟に対応していくべき。(寺下氏)

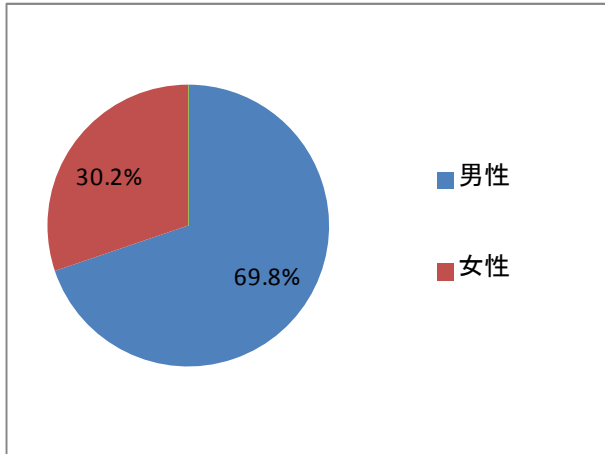
○複合化施設である資生館小学校は、ミニ児童会館、保育所などを、単なる合築にならないよう計画的に整備してきた。二条小学校の建替では、初めてまちづくりセンターを一体化し、高齢社会等の問題意識を共有できる取組を進めている。(上田市長)



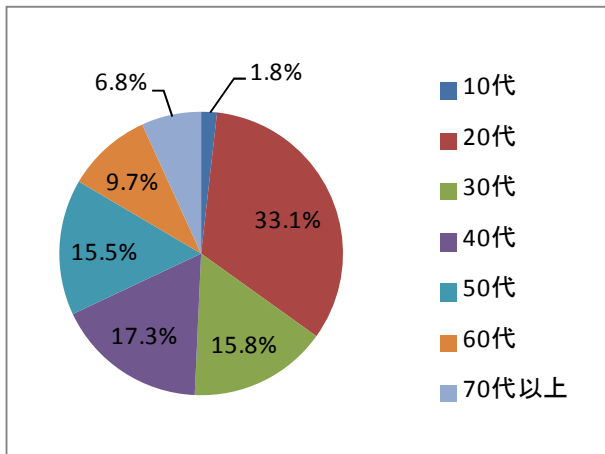
(2) 会場アンケート結果

○回収率：63.6%（来場者437名中回答278名）

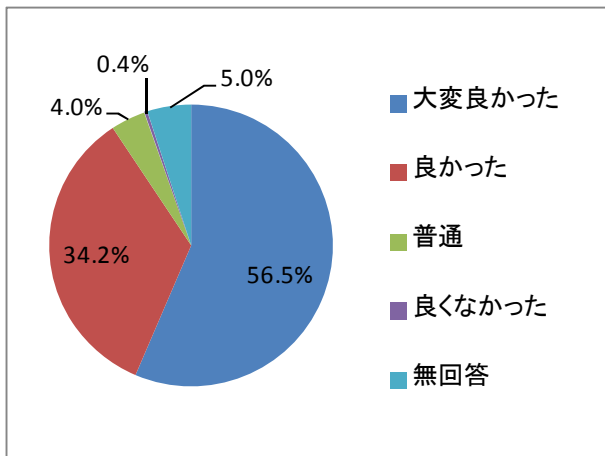
問1 性別



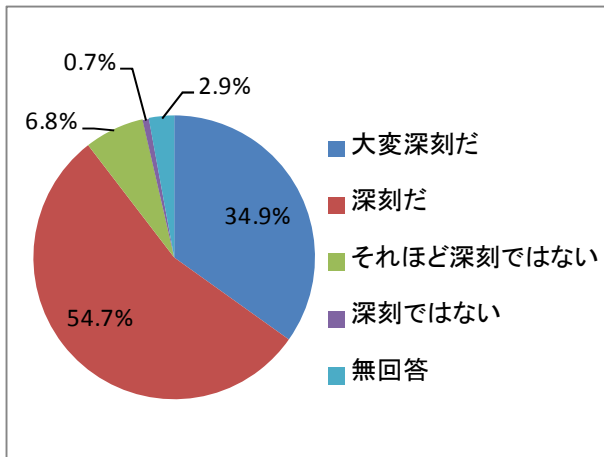
問2 年齢



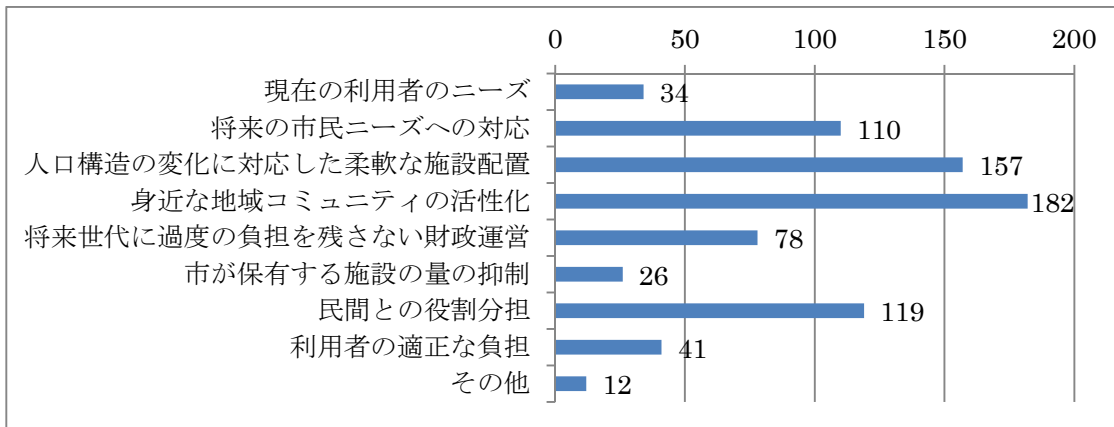
問3 「さっぽろ未来創造シンポジウム」の感想はいかがでしたか？



問4 札幌市では、今後一斉に公共施設の建替え時期を迎え、更新等に係る費用が急激に増加していくことについて、どのように感じましたか？



問5 今後、公共施設のあり方を検討するに当たり、何を重視すべきと考えますか？（3つまで選択）



4 子どもの意見の把握について

(1) 子ども出前講座

ア 概要

子どもたちの市政参加の機会を積極的に創出するため、市職員が学校を訪問し、札幌市の公共施設に関する講座を実施したうえで、アンケートにより集約した意見を市有建築物のあり方検討委員会における提言に反映する。

イ 実施時期

平成26年2月5日（水）～2月17日（月）

ウ 実施対象

小学校3校、中学校3校、高等学校1校の計7校
小学校は社会科授業（6クラス、児童数約180人）
中学校・高等学校は生徒会役員（計36人）



エ 主な意見

- ・ボールを使って遊べる場所が少ないので増やしてほしい。
- ・学校を複合化する際は、例えば、主に地域の人たちが使うエリアと学校エリアを分けて、中間に交流スペースを設けてはどうか。
- ・子どもからお年寄りまで、誰もが自由に集まれる場所があると、お年寄りから色々教えてもらえるし、お年寄りは子どもから元気をもらえるので良いと思う。
- ・借りたい本がない場合、他の図書館にも行ってみたいが、遠くて行けないので、身近なところにもっと図書館を配置して欲しい。
- ・身近なところに、子どもからお年寄りまで、誰もが気軽に体を動かせるような施設があると良い。

(2) 子ども議員との意見交換会

ア 概要

子どもの代表として活躍する子ども議員を対象に、現在、あり方検討委員会で検討されている「小学校を中心とした施設の複合化」について説明し、「私たちが考える将来の学校」をテーマに、グループごとに将来の小学校の複合化のイメージ、複合化による効果や課題を議論し発表するグループワークを実施。出前講座と同様にアンケートを実施し、市有建築物のあり方検討委員会における提言に反映する。

イ 実施時期

平成26年2月16日（日）

ウ 実施対象

平成25年度子ども議員（小学生9名、中学生6名、高校生2名、計17名）



Aグループ

①無駄な部屋を減らす一方、必要な特別教室を増やす

- 代用教室（特別教室の代替として普通教室を使用）が減り、専門の教室を使えて学習効果が上がる。

②小学校と保育園や幼稚園を複合化する

- 先生（保育士、幼稚園教諭）を目指す人が増える。
- × 騒がしくて授業に支障が出るかも知れない。



(コメント) 複合化にあたって、まず小学校自体について考えることも大変重要なこと。保育園や幼稚園と複合化することで、身近に働く大人の姿を見られるという着眼点も良いと思う。

Bグループ

①小学校と老人施設を複合化する

- お年寄りと交流して、昔遊びなどを教えてもらったり、色々な知識を得られる。空き教室を有効活用できる。
- × 学校で亡くなる方が出てきてしまうこともある。



②小学校にふれあい動物園を作る

- 学校が楽しくなるし、生き物についての知識が得られる。
- × 世話が大変だったり、衛生面で心配がある。お金がかかる。

(コメント) 多世代交流については検討委員会でも議論されており、子どもの側からも同様の意見が出たことは意味があると考えている。ふれあい動物園など子どもらしい夢のある発想も、課題もきちんと考えてあって大変良かった。

Cグループ

①家庭科室で地域の方による料理教室を開く

- 家庭科室には必要な道具が揃っている。料理の知識は将来役に立つ。
- × 費用の負担をどのようにするかが課題。(材料をみんなで持ち寄るようにすれば良いかもしれない)

②小学校にドリンクバーを設置する

- 学校で飲み物が飲める。
- × 設置や賞味期限の管理が大変かも知れない。



(コメント) 料理教室は現実的なアイデアで、近い将来実現するかも知れない。地域の人が集まってお茶を飲みながら交流するコミュニティカフェという考え方があり、ドリンクバーはそうした展開まで考えると良いアイデアだと思う。

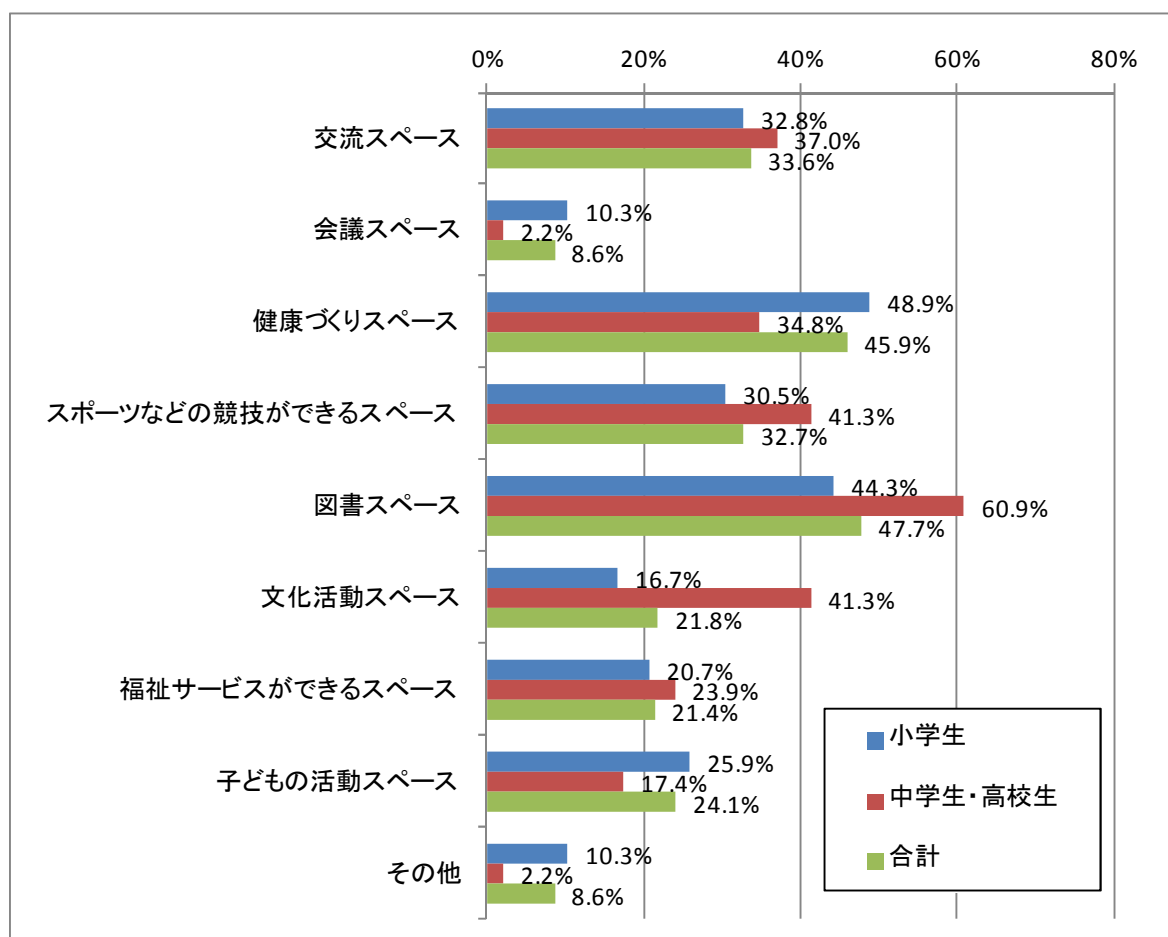
(3) 子どもアンケート

出前講座・子ども議員との意見交換会終了後にアンケートを実施。小学生 174 人、中学生・高校生 46 人、計 220 人の回答を得た。

市の施設について

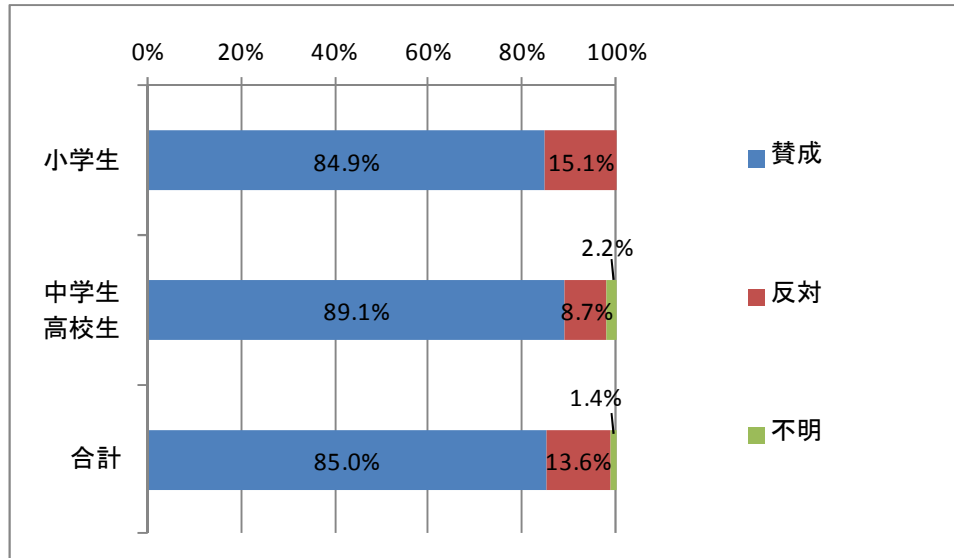
(1) 家から歩いていけるところに、どのようなスペースを持つ施設があるとよいと思いますか。3つまで選んで、○をつけてください。

- 小学生では「健康づくりスペース」が 48.9%と最も多く選択され、次いで「図書スペース」が 44.3%、「交流スペース」が 32.8%となっています。一方、「会議スペース」、「文化活動スペース」は、低い結果になっています。
- 中学生・高校生では、「図書スペース」が 60.9%と最も多く選択され、次いで「スポーツなどの競技ができるスペース」、「文化活動スペース」が 41.3%となっています。一方、「会議スペース」、「こどもの活動スペース」は、低い結果となっています。



(2) 学校と一緒に他の施設を建てること(複合化)について、どのように思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

○ 小学生、中学生・高校生ともに、「賛成」の方が多く、80%以上を占める結果となっています。



(3) (2)で①をお答えの方は、学校と一緒に他の施設を建てる場合、どのような施設と一緒にあるとよいと思いますか。自由に書いてください。

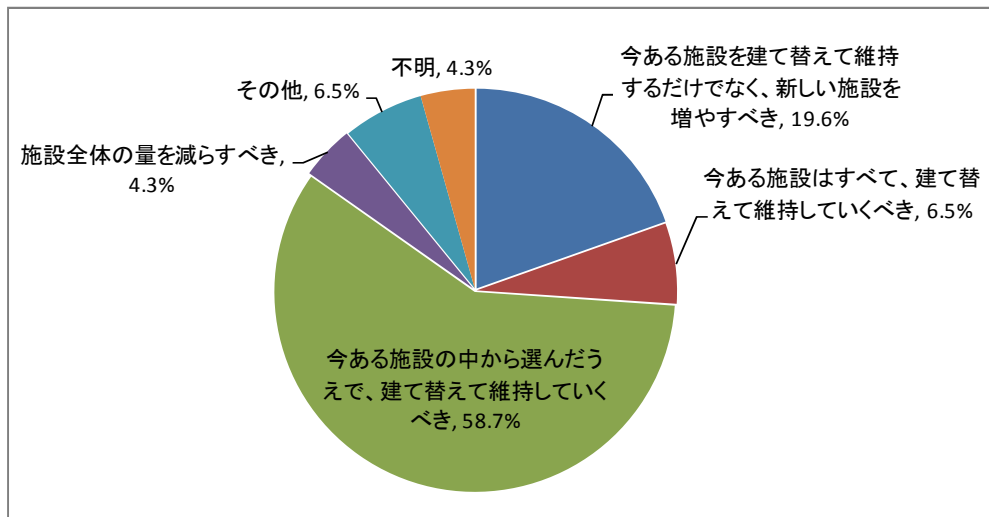
主な意見

- 児童会館やミニ児童会館 (72 件)
- 高齢者や地域の人と交流できる施設 (46 件)
- 体育館やプールなどのスポーツ施設 (35 件)
- 図書館 (33 件)
- 老人福祉センターなど的高齢者のための施設 (27 件)
- 保育園や幼稚園などの子育て支援施設 (15 件)
- 放課後などに勉強することができる施設 (7 件)

(4) 札幌市では、市の施設の建替えに必要な費用の増大が見込まれています。今後は、どのように施設の整備を進めていくべきだと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

(中学生・高校生のみ)

- 「今ある施設の中から選んだうえで、建て替えて維持していくべき」が 58.7%で最も多く、次いで「今ある施設を建て替えて維持するだけでなく、新しい施設を増やすべき」が 19.6%となっています。
- 一方、「施設全体の量を減らすべき」が、4.3%と最も少なくなっています。



そのほかに思ったことについて

この講座を受けて、その他に思ったことなどについて、自由に書いてください。

- 体育館やプールなどのスポーツ施設がもっとあるとよい。(45件)
- 高齢者などのいろんな世代の人と交流できる場所があるとよい。(20件)
- 公園などの遊べる場所がもっとあるとよい。(16件)
- 図書館がもっとあるとよい。(14件)
- 年齢などに関係なく、いろんな人が一緒に使える施設があるとよい。(12件)
- 地下鉄の駅やバス停を増やすなどして、利用しやすいようにしてほしい。(12件)
- 札幌市でも少子高齢化が進んでいるということがわかった。(8件)
- 学校などにいろいろな施設を入れて、複合施設にしたらよい。(5件)